

情報学委員会デジタル社会を支える安全安心技術分科会（第 25 期・第 5 回）

議事要旨

日時：令和 3 年 12 月 14 日（火）15:00～17:00

場所：Zoom による遠隔会議

出席者（敬称略）：岩村，木村，佐藤，須藤，高木，高田，中尾，松浦，馬奈木，
宮地，安浦

オブザーバ（敬称略）：窪田 優（地方公共団体情報システム機構）
松元 照仁（地方公共団体情報システム機構）
小山 覚(NTT コミュニケーションズ)

配布資料：

資料 5-1 安全安心技術分科会 5 回目-20211213.pdf

定足数の確認

委員 14 名中 11 名が出席しており、定足数が満たされていることを確認した。

1. シンポジウムについて

2022 年 3 月 14 日午後に公開シンポジウム「安全安心技術が支えるデジタル社会 Digital Society Supported by Safety and Security Technologies (DS4T)」をオンライン開催する計画と、その準備状況が紹介された。事前アンケート、広報のお願い、後援のお願いについて説明された。

2. 提言にむけて

以下の 2 件の話題提供が行われた。マイナンバーカード普及に影響する施策やその他の要因、住基カードとの関係、インシデントから得るセキュリティ対策の教訓、インシデント以外から得る教訓、公的機関の役割と事故情報の共有、事故時における他機関との協力体制構築の必要性などに関して、質疑が行われた。

2-1. 松元 照仁氏（地方公共団体情報システム機構）

「デジタル社会の実現に向けた地方公共団体情報システム機構の取組」

2-2. 小山覚氏（NTT コミュニケーションズ 情報セキュリティ部 部長）
「NTT コミュニケーションズへのサイバー攻撃が残した教訓」

3. 全体議論

インシデントレスポンス体制、大規模災害対応との比較、などに関して、総合的な議論が行われた。

4. 総会報告

12 月 2～3 日に行われた学術会議総会について、報告があった。

5. 今後の予定

次回の分科会を、シンポジウムと同じ 2022 年 3 月 14 日のシンポジウム開会前（12：00 開始）に開催することが報告された。

シンポジウム開催後、事後アンケートを実施し、提言の作成（総会の方針に沿って提言から別の区分になる可能性がある）を実施することが報告された。また、今年度末にはシンポジウムを開催するが、期末にはフォーラムでまとめた、という計画が説明された。

以上